

事業群評価調書(令和5年度実施)

基本戦略名	1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る	事業群主管所属・課(室)長名	福祉保健部 長寿社会課	中村 直輝
施策名	8 いつまでも健康で生涯を通じて学び、活躍できる社会の実現	事業群関係課(室)	雇用労働政策課	
事業群名	① 高齢者の元気で生きがいのある暮らしと社会参加の促進	令和4年度事業費(千円)	※下記「2. 令和4年度取組実績」の事業費(R4実績)の合計額 139,928	

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)</p> <p>平均寿命が大幅に伸びる中、元気な高齢者の方が増えてきていますが、今後も生き活きと暮らし続け健康寿命を延伸させることができるよう、本人の希望やライフスタイルに合った就業や社会参加の機会の拡大を図っていきます。</p>						<p>(取組項目)</p> <p>i) 高齢者が気軽に相談できる窓口を設置し、経験やライフスタイルに応じた社会参加に関する相談支援を実施 ii) ボランティア活動等で活躍する高齢者の表彰や生活支援等の有償ボランティアの推進 iii) 市町を中心に、関係団体とのマッチングにより高齢者を社会参加につなげる仕組みづくり</p>				
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	<p>(進捗状況の分析)</p> <p>高齢者の社会参加の機運を醸成するため、スマホ講座などの高齢者のニーズに応じたミニセミナーを32回開催し、720名(コロナ前のH30年度:781名)に参加いただくとともに、ワンストップ窓口での相談件数は、1,422件(コロナ前のH30年度:2,020件)と、コロナにより減少していたセミナー参加者等が、回復傾向にあるため、引き続き事業を推進し、高齢者の社会参加の拡大を図っていく。</p> <p>また、これまで3市において配置されていた就労的活動支援コーディネーターが、R5年4月から1市追加されるなど、高齢者の社会参加の拡大にあたっては、身近な市町における支援体制構築が重要であるため、引き続き、市町に対し配置を働きかけるとともに、連携して事業を推進していく。</p>	
	社会参加などについて幅広く相談できるワンストップ窓口を通じて社会参加につなげた件数	目標値①	/	520件	540件	560件	580件	600件		600件(R7)
		実績値②	464件(H30)	157件	194件	/	/	/		進捗状況
	達成率②/①	/	30%	35%	/	/	/	遅れ		

2. 令和4年度取組実績(令和5年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要 令和4年度事業の実施状況 (令和5年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和4年度事業の成果等	
				R3実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R3目標	R3実績		達成率
				R4実績					R4目標	R4実績		
				R5計画	R5目標							
				事業実施の根拠法令等				事業実施の根拠法令等				
事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業	他の評価 対象事業 (公共、研究等)	事業対象								
所管課(室)名												
取組項目 iii	○	1	生涯現役促進支援事業	15,916	0	7,790	就業・社会参加に意欲のある高齢者が、気軽に相談できるワンストップ相談窓口を設置し、相談者の経歴やライフスタイルに沿った個別支援を行うとともに、高齢者の社会参加等への意識を啓発するため、市町と連携したミニセミナーを県内各地で開催した。また、協議会を中心に関係団体と連携した啓発や情報発信により、高齢者の社会参加の機運醸成を図った。	【活動指標】	24	16	66%	●事業の成果 ・新型コロナの影響による外出自粛などにより、目標は未達成だったものの、スマホ講座など高齢者のニーズに応じたミニセミナーを市町等と連携し、32回開催、720名の参加者を得ることができた。また、相談窓口には延べ1,422件の相談があり、登録いただいた194人に対して継続的な個別支援を行うことができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・セミナー開催による啓発や意識の醸成を行うとともに、高齢者のワンストップ相談窓口を設置、運営することで、元気な高齢者が自らの知識や経験などを活かした社会参加に寄与した。
				18,549	0	7,653		高年齢者向けミニセミナー開催回数(回)	24	32	133%	
				22,228	0	7,716		【成果指標】	341	157	46%	
				R2-				ワンストップ相談窓口での登録者数(人)	375	194	51%	
			長寿社会課			—	—	—	県内の社会参加意欲のある元気な高齢者	375		
取組項目 ii	○	2	元気高齢者の活躍促進事業	11,643	6,713	3,895	地域貢献活動に積極的に取り組んでいる高齢者団体の表彰、地域活動を牽引していく人材の育成、高齢者の活躍の場の情報収集や高齢者団体等への社会参加・活動の呼びかけ・提案など地域課題の解決に高齢者の力を活かすための取組を一体的に実施した。	【活動指標】	300	120	40%	●事業の成果 ・高齢者の社会参加への機運を醸成するため「いきいきフォーラム県民大会」を開催した。座席間の距離を確保する等、新型コロナウイルス感染対策を講じ、定員を絞って開催したため、活動指標の目標値には達しなかったが、参加者の社会参加への意欲向上につながった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・フォーラムでの講演や表彰団体の活動報告を通して、高齢者の社会参加への意欲向上に寄与した。
				11,269	6,505	3,827		啓発・表彰事業等の参加者数(人)	300	223	74%	
				14,743	6,679	3,858		【成果指標】	80	70	87%	
				長崎県地域医療介護総合確保基金 事業補助金実施要綱 長崎県元気高齢者の活躍促進事業 (人材育成事業)実施要領				社会参加の意欲が向上した参加者の割合(%)	80	92	115%	
			長寿社会課			—	—	—	県内の元気な高齢者	80		
取組項目 iii		3	明るい長寿社会づくり推進機構費	35,100	32,990	3,895	(公財)長崎県すこやか長寿財団が行う、長崎県ねんりんピック事業やアクティブ・エイジングサポート事業等に対する助成を行った。	【活動指標】	12	6	50%	●事業の成果 ・主要な大会となる長崎県ねんりんピック交流大会を3年ぶりに開催する等、新型コロナウイルス感染対策を講じて各種事業を実施したが、成果指標である参加者数の目標値を達成することはできなかった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・コロナ禍でも可能な限り生きがいづくりや健康づくりの機会を提供して高齢者の社会参加・活躍促進に寄与した。
				42,000	39,890	3,827		高年齢者スポーツ大会等の開催回数(回)	12	13	108%	
				44,349	40,135	3,858		【成果指標】	6,000	761	12%	
				長崎県明るい長寿社会づくり推進機構運営事業費等補助金実施要綱				参加者数(人)	6,000	3,917	65%	
			長寿社会課			—	—	—	県内の高齢者	6000		

取組項目 iii	4	老人クラブ等育成事業	62,170	30,264	779	単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会が行う、生きがいづくり、健康づくり及び地域の支え合い活動等に対する助成を行った。	【活動指標】	1,154	1,123	97%	●事業の成果 ・単位クラブ数・活動参加者数ともに減少したものの、全ての単位老人クラブや県・市町老人クラブ連合会に対し、活動費等の助成を行ったことにより、老人クラブ活動の活性化が図られ、高齢者の生きがいづくり、健康づくり、介護予防の推進及び社会参加が促進された。 ●事業群の目標達成への寄与 ・老人クラブ活動を通じた高齢者の生きがい作り、健康づくり及び地域の支え合いの促進に寄与した。	
			60,065	29,366	765		事業実施単位老人クラブ数(クラブ) ※中核市を除く	1,123	1,095	97%		
			61,050	28,475	771		1,095					
		高齢者在宅福祉事業費補助金実施要綱			【成果指標】	52,811	52,178	98%				
	S38-	長寿社会課	—	—	—	単位老人クラブ、県・市町老人クラブ連合会(中核市を除く)	老人クラブ活動参加者数(人) ※中核市を除く	52,178	49,235	94%		
			49,235									
	5	高齢者等雇用安定対策費	8,045	8,045	3,116	長崎県シルバー人材センター連合会への補助金の交付や高齢者雇用支援のつどいの開催等により、高齢者等の失業の防止及び再就職の促進等、雇用の安定を図った。	【活動指標】	110	61	55%		●事業の成果 ・高齢者雇用支援のつどいについて、新型コロナウイルス感染対策のため規模を縮小したことにより、目標を下回る参加者数となっているが、企業に対し、高齢者雇用に関する普及啓発を一定程度図ることができた。
			8,045	8,045	3,061		高齢者雇用支援のつどいの参加者数(人)	110	47	42%		
			8,241	8,241	3,086		110					
		高齢者等の雇用の安定等に関する法律第36条			【成果指標】	100	99.5	99%				
—		雇用労働政策課	○	—	—	シルバー人材センター、県内企業	65歳までの継続雇用がある企業の比率(%)	100	99.4	99%		
	100											

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	高齢者が気軽に相談できる窓口を設置し、経験やライフスタイルに応じた社会参加に関する相談支援を実施	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>セミナーについては、当初計画を上回る32回開催でき、参加者についても、コロナ前(H30年度)までには及ばなかったものの回復傾向にある。しかしながら、セミナー参加者や「生き生きフォーラム県民大会」参加者の約9割は、「社会参加への意欲が向上した」と回答しているが、事業の成果の1つである個別相談支援の対象となる登録者数は、目標に達しなかった。今後は、意欲が向上した高齢者をいかにして登録や社会参加につなげていくかが課題である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>高齢者の社会参加等を啓発するセミナーに、多くの方に参加してもらえるよう、引き続き、市町等と連携して周知するとともに、セミナーのテーマや内容について、高齢者の興味を引く内容となるよう、アンケート結果等を踏まえ、改めて検討する。 また、意欲が高まった方に対して、具体的な活躍の場の情報を積極的に提供することにより、登録や社会参加につなげていく。</p>
ii	ボランティア活動等で活躍する高齢者の表彰や生活支援等の有償ボランティアの推進	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>啓発・表彰事業については、新型コロナウイルス感染症の影響で、当初想定していた規模でのフォーラムを開催することはできなかったが、参加された約9割の方への意識醸成に寄与できた。今後は、具体的な社会参加やボランティア活動などにつながるよう、市町(生活支援体制整備事業)や関係団体等と連携し、ボランティアの受け皿を確保できるよう取組を進めていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>市町の生活支援体制の整備状況等を踏まえながら、生活支援コーディネーターや就労的活動支援コーディネーターと連携し、ながさき生涯現役応援センターが開催するセミナー開催時に、各市町の取組状況等を直接説明する機会を設けるなど、セミナー受講により意識醸成された高齢者とのマッチングを図っていく。</p>
iii	市町を中心に、関係団体とのマッチングにより高齢者を社会参加につなげる仕組みづくり	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>県及び市町が支援する老人クラブの会員数は年々減少し続けており、高齢者を社会参加につなげる仕組みづくりの進捗は十分ではない。老人クラブの会員数の増加を図り、活動を活性化させる必要があるとともに、老人クラブ以外の高齢者関係団体との高齢者活用のマッチングも課題である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>県連、市町連及び単位クラブが会員数の増加を図る取組を一体となって実施できるよう支援するとともに、退職者団体等老人クラブ以外の団体と連携した社会参加の仕組み作り等を推進する。</p>

4. 令和5年度見直し内容及び令和6年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和5年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和5年度の新たな取組は「R5新規」等と、見直しが無い場合は「—」と記載	令和6年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i iii	○	1	生涯現役促進支援事業	セミナー参加者に、高齢者の活躍の場の情報を積極的に提供することにより、社会参加についての具体的な行動変容を促す。	②	市町でも住民からの相談に対し支援ができるよう、「就労的活動支援コーディネーター」等の配置による相談窓口の設置などの体制整備について、市町と連携したセミナー開催などを通じ支援していく。	改善
			R2-				
			長寿社会課				
取組項目 ii	○	2	元気高齢者の活躍促進事業	コロナの影響により、高齢者団体の活動が十分できなかったため、昨年度までは表彰の推薦が少なかったが、それぞれの活動も回復傾向にあるため、各団体の下部組織まで情報が届くよう、早めに通知を行うとともに、これまでの受賞者の取組状況等を周知することにより、推薦者の拡大と取組の促進を図る。	②	表彰を受けた高齢者支援の団体においても、活動の担い手が不足している状況があるため、表彰事業を通じて、地域の身近なところで活躍している団体の活動をさらにPRするとともに、生涯現役支援センターの取組と連動し、社会貢献活動への意欲の高まった高齢者と人手が不足している高齢者支援の団体とのマッチングができるよう、市町や高齢者支援の団体などの関係機関と連携し取組を進めていく。	改善
			H30-				
			長寿社会課				
取組項目 ii iii		3	明るい長寿社会づくり推進機構費	シニア競技の普及啓発を目的としたアクティブ・エイジングサポート事業の活動(主に軽スポーツの普及活動)を拡充し、競技人口の拡大を図る。 また、高齢者自らの生きがいや健康づくりを進める活動の選択肢を増やすため、(公財)長崎県すこやか長寿財団と協議のうえ、ねんりんピック県大会の新競技種目の追加を検討する。	②	シニア競技の普及を目的としたアクティブ・エイジングサポート事業(主に軽スポーツの普及活動)について、対象競技を見直すなど、新たな競技人口の拡大を図る。 また、「生きがい作品展」の施設からの出品数は、コロナ期間中(R2, 3年度)に比べ増加傾向にあるが、コロナ前までの出品数には至っていないため、関係団体とも協議し、出品を促していく。	改善
			H3-				
			長寿社会課				
取組項目 iii		4	老人クラブ等育成事業	老人クラブは、地域を基盤とする自主的な活動組織であり、高齢者の生きがいや健康づくり、一人暮らし高齢者等の見守り活動などで重要な役割を果たしているが、会員数減少に歯止めがかからず、将来的な活動の維持・存続が課題となっているため、県及び市町老人クラブ連合会とともに会員数確保に向けた具体的な方策の検討を行う。	②	老人クラブの会員数確保に向け、時代にあった組織への変革(「老人クラブ」に代わる愛称の検討)、非会員への加入促進の働きかけ、現役会員による魅力・やりがいの発信、単位老人クラブにおける事務負担の軽減・見直し、地域における他の団体との協働の検討など、県及び市町老人クラブ連合会、単位老人クラブ等と連携し、各種取組を支援していく。	改善
			S38-				
			長寿社会課				
取組項目 iii		5	高齢者等雇用安定対策費	—	⑧	高齢者等の雇用の安定に関する法律(国及び地方公共団体はシルバー人材センターの育成などに努める)に基づき、高齢者の意向に沿った就業機会を確保するため、「県シルバー人材センター連合会」に対し県が運営費を補助するとともに、シルバー人材センターが安定的な運営ができるよう、国の制度の活用について必要な支援を行う。	改善
			—				
			雇用労働政策課				

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点